



高槻ロータリークラブ 2017~2018 WEEKLY BULLETIN

四つのテスト

I. 真実かどうか
II. みんなに公平か
III. 好意と友情を深めるか
IV. みんなの為になるかどうか

事務所 オーロラモール高槻西武 6階 〒569-1116 高槻市白梅町 4-1
TEL 072-683-1158 FAX 072-683-1174
E-mail takatsuki.rc@bird.ocn.ne.jp

例会日 毎週水曜日 12:30~13:30
例会場 オーロラモール高槻西武 6階 多目的ホール TEL 072-684-5379

創立 1954年6月15日

会長 浜田厚男 **幹事** 橋本憲治 **クラブ運営委員長** 馬淵晴彦 **会報担当副委員長** 藤田貴子

No.29 2018年2月14日発行

2月は平和と紛争予防 / 紛争解決月間

第3107回 本日(2/14)の例会

- ◎ソング...四つのテスト
- ◎外部卓話
高槻市コンプライアンス室長
谷口嘉昭様
「地方自治体のコンプライアンスの取り組み」
- ◎例会後の行事 第3回被選理事会

※2/17(土) IM 第2組ロータリーデー
13:00 受付開始
於: 阪急エキスポパークホテル

第3108回 次回(2/21)例会

- ◎ソング...R-O-T-A-R-Y
- ◎1月度皆出席表彰
- ◎卓話 古川 大介君
「
深野 裕一君
」

※2/20(火) 19時より歓迎会の予定
※2/21(水) 台湾中山RC 4名訪問

◎2/7 出席報告

会員数	出席者数	出席率
52名	39名	79.59%
前々回例会補正後出席率	95.92%	
但し、Mup 3名	欠席者 2名	
出席規定適用免除有資格者	3名	

先週(2/7)例会より

◎ビジター・ゲスト 0名

◎会長の時間

2月になりました。今月は平和と紛争予防紛争解決月間となっています。

今日、紛争や迫害によって住むところを失った人びとは何百万人もおり、紛争被害者の実に90%が一般市民で、その半数が子どもだといわれています。

ロータリーでは、貧困、不平等、民族対立、教育や機会の欠如といった、争いの温床となる問題への取り組みのほか、紛争を抑止・仲裁するためのスキル研修や難民支援など、さまざまな平和活動に取り組んでいます。とロータリーでは色々活動しております。平和な日本に居てどのような活動が可能かと今月は考えてみたいと思います。

因みに本日2月7日は北方領土の日、10万人の市民がソ連に殺害されています。

◎幹事報告

- ・特にございません。

◎委員会報告

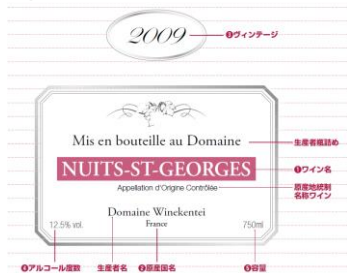
◎国際奉仕委員会

伊藤 智秋

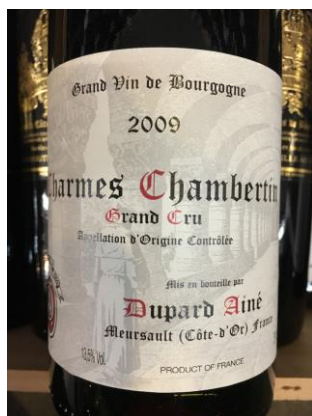
2月21日の例会に台湾中山RCの方々4名いらっしゃる予定です。高槻RCの例会に出席後は19時の飛行機で帰国予定です。つきましては、前日の20日19時より西天満のチルコロで歓迎会を計画しておりますので、ご参加可能な方は回覧を回しますので、ご記入をお願いします。



・ワインのラベル



- ①生産者名、ブランド名、原産地名、品種名など（一番大きな文字で記載されていることが多い）
- ③ブドウの収穫年・・・特に記載がない場合や裏ラベルに記載
- ⑤750ml・・・標準的なグラスであれば6杯分（1杯 125ml）



職場ではシニアソムリエの資格を持って仕事をしておりますので、本日は『ワインのラベルの見方』についてお話ししたいと思います。

ワインを選ぶとき皆さんだいたい正面のラベルではなく、くると反転させて裏のラベルをお読みになる方が多いかと思うのですが、表のラベルにはどのような情報が表記されているかをお話ししたいと思いますので、今後のワインの選択に少しでもお役に立てばと思います。

ワインのラベルの表記方法は国ごとに違うのですが、フランス、イタリア、スペイン、ドイツなど、ワインの歴史が古い国に対して、ニューワールドと呼ばれるチリ、アルゼンチン、南アフリカ、カリフォルニア、オーストラリア、ニュージーランドのワインのラベルは比較的わかりやすくなっています。

スライド 1

左が南アフリカ カベルネソーヴィニオンぶどうの品種名です。

右がチリ シャルドネぶどうの品種名ニューワールドのラベルは、品種名が表記されているのが多いわかりやすい選びやすい原料になっているぶどうの品種から味わいをなんとなく想像できるレゼルバ、アルコール度数が高め熟成（樽）の意味

一方、フランス、イタリア、ドイツ といのはそう簡単にはいきません。

今回はフランスワインの典型的なラベルをじっくり見ていきたいと思います。

- ① 生産者、原産地名、品種名など
- ② 原産国名
- ③ ブドウの収穫年
- ④ アルコール度数
- ⑤ 750ml 標準的なグラスであれば6杯分

それではこれからラベルで一番大事な場所のご説明を致します。

アペラシオン ドリジーヌ コントローレと書かれています。

生産地 源（起源） 管理
ドリジーヌのところには関連して地名が表記されるようになっています

フランスのワインの格付けをまずは大きく分類しますと3つにわかれます。

その一番上のランクにあたるものに、このアペラシオン ドリジーヌ コントローレ の表示があります。

フランスのワインの半分ほどのワインにこの表示があり、『原産地統制名称ワイン』 と呼びます。アペラシオン ドリジーヌ コントローレ と言いますので略して AOC ワインとも言います。この AOC ワインと分類されるにも条件があり、いろいろなきまりがあります。

例えば、生産地域、品種、アルコール度数、収穫量、栽培法、剪定方法、醸造法、熟成条件、そして試飲検査などがあり、そういったものをクリアしたものを AOC ワインと呼びます。

スライド 2

こちらはフランスのワイン片方が 2,000 円、もう片方が 4,000 円のワインです。

アペラシオン ドリジーヌ コントローレの表記があります。左は大きくメドックと書かれています。

左 ボルドー地方、メドック地区、← たくさんの地区がありますが、右 ボルドー地方、オーメドック地区、マルゴー村 ← オーメドック地区にいくつかある村の中のひとつより良い限定区画からつくられており、より価格が高くなっていく土壌や気候、ぶどうの質などが良いということになります。

スライド 3

こちらフランスワイン 7,000 円と 14,000 円、14000 円支払って 7000 円のワイン受けとつてもわかりませんよね

オペレーション ドリジーヌ コントローレ の表記があります。

左 ブルゴーニュ地方

右 ブルゴーニュ地方にたくさんの地区がありますがその中で、コートドニュイ地区のワインで、さらにコートドニュイ地区はたくさんの村から成り立っているのですけれどもその一つのジュヴレシャンベルタン村

スライド 4

先に値段を言いますと、20,000円オペレーションドリジーヌ コントローレ の表記があります。ブルゴーニュ地方 コートドニュイ地区 ジュヴレシャンベルタン村 シャルムシャンベルタン畑畑でも特級畑・一級畑があるがこちらは特級畑 特級畑(グラン クリュ)一級畑(プルミエ クリュ)こんな感じで、より良い区画に限定されていくほど基本的には値段が高くなっていきます。そして生産量もどんどん少なくなっていくということになっています。地区、村、畑などの名前や場所を覚えることはなかなかできませんが、こういったしくみになっているというところであります。そして、生産地域が絞られていくと、そこで育てられているぶどうの種類が限定されていくので、そのワインがどのぶどうでできているかが推測できてきます。これは1種類の場合もありますし、3種類のブレンドということもあります。そうすると、そこでまたおおまかな味合いを推測することができてきます。ただ、やはり一つ一つ個性があるので、飲んでみないと結論はでないですけれども あくまで推測ができてくる。そうすると逆に、ワインの味合いからたどってどこでつくられたワインなのかをなんとなくイメージできるということになります。ワインというのは、無数にありますので、先ほどでいえば、それぞれの生産地区、村にはこれまたたくさんの生産者がおりますので、大量生産のワインでない限りレストランで飲んだり、たまたま買ったワインに簡単に再びめぐり合うことはなかなかありません。ですので、フランスのワインでおいしいなあと感じたワインがあった場合、このオペレーション ドリジーヌ コントローレの表示があるワインでしたら、その地名を覚えておいて同じ地名が表記されているワインを選ぶと、似たような場所で同じようなぶどうを材料に作られているので、味合いも似た味合いが期待できるというようなこととなります。これからですね、ワインを選んで買う時はですね是非、表ラベルを見て選んでみたらまた楽しみの幅が広がるんじゃないかと思えます。ちなみにシニアソムリエの試験の中で、ブライントイステイングという注がれたワインを飲んで推測するというのがあります。どこの国のどんなワインかわかりません。その時試験に出てきたワイン3種類の中で、①フランス ブルゴーニュ ピノノワール 2007年まで当たりました。②イタリア 20州ある中で ピエモンテ州バローロという銘柄 ネッピオーロ種を、当てることができました。と、いうところでワインのラベルの話、終わらせていただきます。

◎卓話 ドラマ「99.9」を見て思ったことその他 2018年2月7日山室匡史

本日は卓話の機会を与えていただきありがとうございます。本日のテーマはドラマ99.9をみて思ったことその他ということにさせていただきます。99.9というのは、今、日曜劇場の枠で放送されているドラマで、刑事事件を専門に取り扱う弁護士が主人公です。2016年にシーズン1が放送されて、今年の1月からシーズン2が放送されているところです。私は普段はあまり裁判や法律を扱うドラマは見ない方でして、2016年に99.9のドラマのシーズン1が放送されていたときも一切見ていませんでした。

なぜかといえば、ドラマがリアルに作ってあれば仕事をしているような気になってきて気が休まりませんし、逆にリアリティがなければそれが気になって物語に集中できないからです。

今回見たのも卓話のテーマを決めないといけないので何かないかなと探していたからで、こういうことがなければ見る機会もなかったのかと思います。それで1月28日放送分の第3話を見てみました。

第3話の物語は、ゲストで宇崎竜童さんが演じるロック歌手が出てきて、このロック歌手がジャーナリストを殺害した上で目撃者も殺害しようとしたという容疑をかけられて逮捕されてしまいます。そこで、松本潤さん演じる主人公の深山弁護士がえん罪を晴らすために活動するというものでした。

ドラマですので、手続という面に関しては話をわかりやすくするために実際の裁判とはかけはなれたものにしてはいますが、内容についてはよく調べていると思わされる描写がたくさんありました。

一つ印象に残ったのは、主人公の上司の佐田弁護士を香川照之さんが演じていますが、佐田弁護士が被疑者のロック歌手に対してアドバイスをする場面がありました。

ロック歌手は違法賭博をしていて、殺されたジャーナリストにそれをつかまれて、脅されていました。佐田弁護士は、ロック歌手に対して、警察から任意の取調べには堂々と応じるべきだと助言する一方で、違法賭博をしていたということは警察から聞かれるまで言わなくていいとアドバイスします。これは、任意の取調べに応じなければ、逃げたり証拠を隠滅するおそれがあるということで逮捕されてしまうかもしれないから、任意の取り調べには応じましょう、他方で、賭博は犯罪なので話してしまうと刑事事件で有罪になるかもしれないから言われるまでは話さないでおきましょうというアドバイスですね。

これが後で殺害の動機を隠していたといわれて逮捕されることにつながっていくんですが、これも弁護士がアドバイスしそうな内容のアドバイスです。弁護士は、依頼人に対して助言するとき、嘘をついてはいけないけれども、不利な真実を積極的に話す必要はないとアドバイスします。これは、真実義務という弁護士倫理の問題です。実際、これに似たようなアドバイスはよくあって、窃盗で逮捕されている被疑者に余罪がたくさんあるような場合に、余罪については積極的に話をしなくていいとか、場合によっては黙秘してくださいとアドバイスすることがあります。ドラマのケースでは、それが裏目に出て、殺人の動機を隠しているとみられて、逆に逮捕につながってしまったという皮肉な結果を招いたというものです。弁護士のアドバイスの傾向を調べた上で失敗に結び付けているあたりが面白いと思いました。

今のは弁護士が悪意のないミスですが、ドラマの中では裁判官のある意味悪意のある思考パターンも表現されていました。その一つは、事件の処理件数にこだわりすぎて、当事者のことや真実のことがなおざりになってしまうような描写です。

たとえば、ドラマの中で目撃証言を確認するという場面がありました。最初に確認しようとしたときに、目撃証人が雨の状況が当日と違うからよくわからないという証言をしたので、これを受けて、深山弁護士が裁判所に対して事件の日と同じ大雨の日をまとめて確認をしたいと申し出たというものです。担当裁判官は、それを受け入れて裁判を延期するかどうかを悩むシーンがありました。その悩みのシーンで、担当裁判官に対して、先輩裁判官が月に配転された新件に対して既済事件が少ないからノルマを達成できていなくて赤字だと注意するシーンがありました。

月ごとに新件と既済事件の件数を比較して赤字という言い方をすることについては裁判官経験者も本に書いていて本当の話です。たとえば、民事裁判を担当していた元裁判官の瀬木比呂志さんが書いた「絶望の裁判所」という本の136頁には以下のような記載があります。

「裁判官の事件処理については毎月統計が取られており、新受件数が既済件数を上回り、いわゆる未済事件が増加すれば『赤字』となって『事件処理能力』が問われるし、手持ち件数も増えるからみずからの手元、訴訟運営も苦しくなってくる。」

という記載があります。

裁判官が事件の処理件数に強くこだわることは本当ですし、処理件数に応じて「赤字」「黒字」という表現を使っていることも本当のようです。

これが行き過ぎるとおかしなことも行われるようになっていきます。たとえば、民事の裁判で和解の手続きですが、和解というのは、裁判官からみれば非常に魅力のある手続きのようです。和解で解決をすれば、当事者の主張や証拠を精査して詳細な判決を書くという手間が省けます。空いた時間で他の事件を処理することができるようになります。また、和解で解決をした事件については、当事者から控訴されて高等裁判所に持って行かれるということもありません。高等裁判所に持って行かれることがないということは、高等裁判所に自分の書いた判決をひっくり返されることもないということです。事件処理件数を稼いでなおかつ自分の仕事に罰点をつけられることもないので、裁判官からみれば非常に魅力的だと言えそうです。和解の手続きを行っているときは、裁判官がいる部屋に交互に原告と被告が入って話をするんですが、裁判官が原告が入ってきたときには原告を負けさせるから和解するべきだと説得し、被告が入ってきたら被告を負けさせるから和解するべきだといって和解させるという例があります。さきほどの瀬木元裁判官の別の著書の「ニッポンの裁判」という本の224頁には「双方の当事者に『負けますよ』と告げて和解を成立させる裁判官もいる。双方の代理人が廊下に出た後で雑談をしているうちにそのことが判明して憤慨したという話を、私は、何回も聞いたことがある。」と書かれています。私も10年ほど前に新人のころは、先輩の弁護士が裁判官からこのようなことをされたという話を何度も聞きました。原告と被告の両方に負けさせるというのは、勝つべき当事者に対しては負けさせるというのは、勝つべき当事者に対しては嘘をついていますね。判決を書く手間を惜しんで事件処理件数をかせぐためには嘘をつくような裁判官も残念ながらいるということになります。

ここまでひどくなくても、一方の当事者だけに「このままでは負けますよ」と心証を開示して譲歩させるということは、ごく普通に行われています。しかし、これも、裁判所は本来原告に対しても被告に対しても公平でなければならないので、一方だけに負けさせると伝えるのは不公平です。勝つという心証を開示してもらえなかった当事者は裁判官の心証を前提に和解をする機会を奪われているからです。これも事件の処理件数をかせぐために、公平な裁判所という理念が後退している一例だと思います。

また、ドラマの中では、担当裁判官は無罪判決を出すのですが、それを知った笑福亭鶴瓶さん演じる地方裁判所の所長代行の裁判官は、無罪を出した裁判官は都会で事件処理をするのに向いていないといって、地方に異動させてしまいました。この所長代行の裁判官は、口では、バランスのとれた判決を下しなさいとか、君のやりたいようにやればいいのか聞こえのいいことを言っていたんですが、実際に無罪判決を下せば地方に飛ばすということをやってきたわけです。昔から無罪を書く裁判官は地方に飛ばされるとか、有罪判決を書いた方が出世しやすいという噂は以前からありました。

実際、東京地裁が無罪判決を言い渡した事件で検察側が控訴した事件があったんですが、2007年12月に高等裁判所でその案件を担当した裁判長は逆転有罪の判決を言い渡しました。それで同じ月には東京地裁の所長になったというケースもあります。

99.9というドラマは、シーズン2に入って裁判所の問題に光をあてるというスタンスで作られているのですが、ドラマでもこういう問題を取り上げるようになったのかと思ひ、こういう問題が少しでも市民の皆さんの関心を集めるようになればいいと、ドラマをみていて思いました。

◎ニコニコ箱報告

- ・誕生記念内祝 松下君（お祝い頂き有難うございます。）
- ・結婚記念内祝
- ・入会記念内祝 入谷君、篠原君
- ・創業記念内祝 山口君、川畑君、奥田君
- ・皆出席内祝い
- ・各記念月の皆様へ、おめでとうございます。河合君
- ・卓話を聴いて頂いて有難うございました。坂野君
- ・卓話の機会をいただき有難うございました。山室君

本日の合計 ￥45,000-
7/1よりの累計 ￥1,449,000-

◎R財団への寄付

山口 誠君 ￥5,000- 川畑 孝彦君 ￥5,000-
河合 一人君 ￥5,000- 奥田 晴基君 ￥5,000-
篠原 光子君 ￥5,000-

本日の合計 ￥25,000-
7/1よりの累計 ￥695,000-
一人当たり平均 \$123.89

◎米山奨学会への寄付

入谷 治夫君 ￥5,000- 坂野 信一君 ￥5,000-

本日の合計 ￥10,000-
7/1よりの累計 ￥552,500-
会員より ￥285,000-
クラブより ￥267,500-

一人当たり平均 ￥108.33